

に従事。昭和九年には満州のハルピン、同十三年には蘇州で酒造業を経営した。戦後も酒造業の傍ら、佐賀県産米改良協会や交通安全その他公私の役職に携わる一方、昭和三十年四月から県会議員五期を務め、同四十九年七月、川副町出身者として最初の国会議員―参議院議員となった。

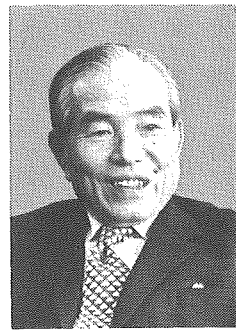
県知事五期を務めた。この間大正九年に一学期間西川副小学校教師や、また戦時は南方司政官をしたこともあった。囲碁五段。

十九年七月、川副町出身者として最初の国会議員―参議院議員となった。

四 川副町出身、最初の知事

池田 直 (明治三十四年十一月十九日生)

大正八年県立佐賀中学校卒、旧制佐高を経て昭和四年東大英法科卒、同五年高等文官試験合格、会計検査院に入って課長、局長、事務総局長、事務総長となったが、昭和三十三年四月、鍋島直昭知事の後を継いで佐賀



院に入って課長、局長、事務総局長、事務総長となったが、昭和三十三年四月、鍋島直昭知事の後を継いで佐賀



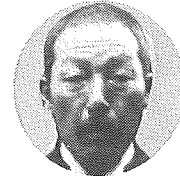
森 太一 (中川副、安政三年二月十五日生―大正五年三月十八日没) 任期明治二十七年四月―同三十八年三月。大正二年三月―同五年三月。



吉武 豪 (南川副、安政二年十二月二十七日生―大正十三年十一月十八日没) 任期明治三十年九月―同三十二年九月。

五 川副町出身の県会議員

中島 嘉 (大詫間、文久三年八月二十七日生―大正六年十月七日没) 任期明治三十八年三月―同四十二年三月。大正五年三月―同六年三月。



今泉 良子 (西川副、慶応元年四月十四日生―昭和十八年没) 任期明治三十八年三月―同四十二年三月。



福島 健助 (中川副、明治四年六月十九日生―昭和十一年一月十二日没) 任期大正六年三月―同十年三月。



大坪安太郎 (西川副、明治六年十月十三日生―昭和十五年十二月十九日没) 任期大正十年三月―同十四年三月。



吉武 一郎 (南川副、明治十五年二月二十四日生―昭和十八年八月十日没) 任期大正十四年三月―昭和四年三月。



原 藤三郎 (南川副、明治十二年十月十九日生―昭和二十六年一月十三日没) 任期昭和八年三月―同二十二年四月。昭和十九年二月県会議長。



池田 新一 (南川副、明治二十九年十月二十八日生―昭和三十六年一月三十日没) 任期昭和二十二年四月―同三十六年。



内田 栄作 (南川副、明治二十六年十月十日生) 任期昭和二十八年四月―同四十二年四月。

